

〈提案型協働事業 検証シート〉

協働事業の概要	事業名称	阪急武庫之荘駅前放置自転車対策のための調査設計事業		
	団体名	武庫之荘水と緑の街づくりプロジェクト実行委員会	市所管課	放置自転車対策担当、まちづくり企画・調査担当
	事業の趣旨・内容	<p>武庫之荘駅周辺駐輪禁止ゾーンの約1,600台の不法駐輪は、地域ブランド力アップと活性化の阻害要因である。現在、定期的に月1回駅前事業者、自治会、行政等と連携して、放置自転車に禁止シール貼付作業など利用者への啓蒙・啓発活動を実施しているが、放置自転車の減少にはつながっていない。こうした現状は、自転車駐輪場の不足が最大の原因であり、その増設が望まれるが、一方でどの地域から来ているのか、なぜ駐輪場を利用しないのか等の実態把握がされていないため、駐輪場の確保台数や自転車から他の交通手段への変更をはじめとした有効な施策策定ができていない。そこで、武庫之荘駅前関係者、有識者、行政等からなる勉強会を結成するとともに、アンケートと聞き取り調査に向けて調査項目と方法について協働で調査設計を行う。</p>		
	協働における行政の役割	鉄道・駐輪事業関係者の調整、情報提供、調査シート作成時の意見、助言 等		
協働における市民の役割	推進協議会の設立・運営、放置自転車の実態調査、勉強会の開催、調査シートの作成 等			

市民と行政のこれまでの動き

年月	できごと
平成26年 5月	・推進協議会の設立
7月	・武庫之荘周辺駐輪施設及び料金体系の実態調査実施
10月	・補助金交付決定・協定書締結、アンケート用紙完成
11月	・アンケート調査実施、回収、集計
平成27年 3月	協働終了

評価会議における意見など

1	<p>・調査の結果に基いた、今年度以降の取組を期待したい。撤去活動やパイロン設置など今年度からの市の取り組みが一定の成果を挙げているので、地元団体・地元住民とのさらなる協働活動で実効性あるものにされたい。</p>
2	<p>・「今回のアンケート調査は通過点であり、今後は自転車事故や盗難も多い不名誉な現状の改善につなげていきたい」とあるので、さらなる発展を期待したい。また、地域の取り組みから全市的な取り組みとして提案できるよう今後なげかけてほしい。</p>
3	<p>・協議会メンバーだけでなく、より多くの市民が関われる部分を活動にさらに盛り込み、市民間での協働も促進されたい。</p>

所管課意見

評価会議からの提案事項	意見
	<p>今回の提案型協働事業の調査結果は、これまでの市の取組を後押ししていただいたと考えており、今後も更なる取組を進めていきたい。 なお、市では市営駐輪場管理運営、啓発整理、撤去、保管返還の4つの業務を一括して委託する取組を平成27年4月から市内全駅で導入し、この一体的委託の受託業者と市が連携し、4月から武庫之荘駅南側でバリケード設置と増設した民間駐輪場への誘導強化に取組み、平成27年6月の放置自転車は約800台弱と平成25年度の約1,600台と比較し、概ね半減している。</p>

市 総括

<p>阪急武庫之荘駅という部分的な事例ではあるが、今回行った調査設計事業に基づく結果は、今後の尼崎市の具体的な施策展開を考える上での基礎データとして十分活用できるものだと考える。 具体的な施策の推進については、連携した取り組みによる事業展開に期待したい。 団体と市は当初の役割分担の通り、それぞれの責任を果たし事業を実施してきた。しかしながら、団体と事務局との間で本制度(協働)への認識の齟齬が生じていたため、事務局としては今後、本制度の趣旨の周知を徹底するよう改善していく。</p>
--

以上